

## 9A\_単三2本・押しボタンランプを単三1本用に変更



画像左は、径80φ位の、豆電球を単三電池2本で光らせる、壁掛けもしくは卓上用のランプです。100円均一店では2個100円で市販しています。上部のレンズ部を押すとスイッチが入り点灯します。再度押すと断になります。定格は、電池:単三2本使用、電球:2.5V. 3Aです。

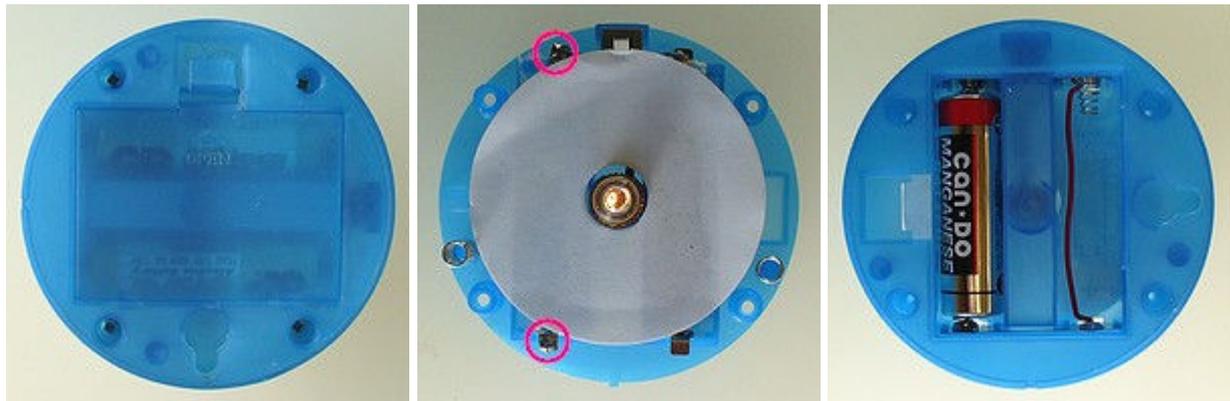
画像右は、取替えに使った替球です。  
1.2V. 22A、3個入り、100円です。

夜中のトイレで、電灯をつけるとあまりに眩しすぎて、目が覚めてしまいます。小用ならば、電灯をつける程長時間の点灯は必要ないので、トイレのタオル掛けの上に乗せて使っています。

通常は、単三2本使用ですが、電池の片割れが沢山あり、丁度よい2本を選択するのが面倒になり、1本で使えば、選択の面倒がなくなり、また、電池は最後まで使えと、考えた結果の改造です。

<http://machizukan.net/whiteled/>

## 分解して線を1本半田付け。完成



画像左:分解

裏側の電池蓋を外し、電池をとり、4隅のビスを外します。

画像中央:線を半田付けする

丁寧に分解すると、中はこの画像になります。

反射用の紙をめくと電池の端子が4ヶ所見えます。片方の電池の上下の端子をつなぎます。画像で赤丸の端子です。端子をショートする様に線を半田します。手早く行わないと樹脂が溶けます。

画像右:線材は電池側に

この時に、線材を、電池を入れるほうに通すと、区別が付きまます。絶対にこちら側には電池を入れないでしよう。

電球を新しい1.2V用に変更して、組み立てれば完成です。画像中央は点灯しています。

これで、適当な単三電池を1本入れれば点灯する様になりました。

<http://machizukan.net/whiteled/>